

# 滋賀 戦争法廃止へ意見書を 「しーこふ。」県議会に署名提出

2/4  
市旗



議会事務局の担当者（左端）に署名を提出する藤川代表（中央）ら＝3日、大津市

滋賀県の若者憲法サークル「しーこふ。」は3日、国に対して「安全保障関連法（戦争法）の廃止を求める意見書」の提出を求める請願署名3242人分を県議会の西村久子議長

あてに提出しました。署名は、昨年7月の集団的自衛権行使容認の「閣議決定」について「立憲主義の破壊」と指摘。「主権者である国民の意見が尊重される政治が実現すること」を求めています。

「しーこふ。」のメンバーは、県議会の全会派を回って紹介議員になるよう要請。日本共産党の節木三千代、杉本敏隆、民主党の九里（くのり）学、成田政隆、塚本茂樹の各県議が紹介議員に名前を連ねました。

代表の藤川結さん（22）＝大学4年生＝ら4人が議会事務局を訪れ、担当者に署名を

手渡しました。藤川さんは「若い人たちが全国で立ち上がり、滋賀でもデモなどの取り組みが行われました。県として国に対し、『おた。かしい』と声を上げてほしい」と訴えました。